

はん
「判じ絵」について

山田 光一

1. はじめに

学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

2. 調査方法

学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か

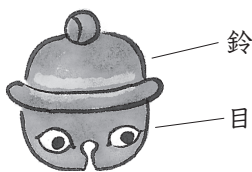
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。



(ア) ただし、【図1】のように、描かれているものと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」ことが必要になる。(イ) 言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

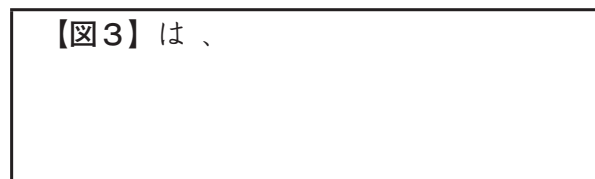
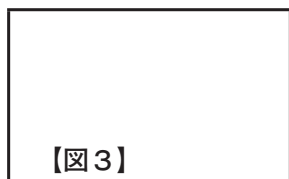
■「判じ絵」の解読の面白さ

「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



【図2】 スズメ

【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。



【下書きの一部】

3 山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの【下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

一 山田さんは、「1. はじめに」の~~~~線部「もち」を「もったため」に直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。
- 2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。
- 3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。
- 4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。

二 — 線部のひらがなを漢字に直し、楷書かいしよでていねいに書きなさい。

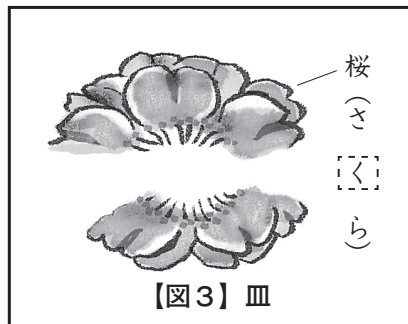
三 山田さんは、「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章の内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適切なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

四 山田さんは、「■『判じ絵』の解説の面白さ」に【図3】としてもう一つ具体例を示して、解説の仕方を説明しようとしています。あなたなら、どのように書きますか。次の〈候補〉のA、Bから一つ選び（どちらの〈候補〉を選んでもかまいません）、【図3】は、「」に続けて、【図2】の説明の仕方を参考にして書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈候補〉

A



B



※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

<候補>

Ⓐ

Ⓑ

← 選んだ<候補>の記号を塗りつぶしなさい。

【 図 3 】 は 、